

令和5年度 学級活動年間指導計画

■内容項目

- (1) 学級や学校の生活の充実と向上に関すること
- (2) 個人及び社会の一員としての在り方，健康や安全に関すること
- (3) 学業生活の充実，将来の生き方と進路の適切な選択に関すること

月	学級活動		
	1 年生	2 年生	3 年生
4 月	○中学生になって ○学級組織づくり ○学級目標	○2年生になって ○学級組織づくり ○学級目標	○3年生になって ○学級組織づくり ○学級目標
5 月	○中間試験に向けて ○学級の諸問題 ○生徒総会に向けて ○体育大会に向けて	○中間試験に向けて ○学級の諸問題 ○生徒総会に向けて ○体育大会に向けて	○中間試験に向けて ○学級の諸問題 ○生徒総会に向けて ○体育大会に向けて
6 月	○進路学習 ○期末試験に向けて	○進路学習 ○期末試験に向けて ○職場体験に向けて	○進路選択に向けて ○期末試験に向けて
7 月	○家庭学習のあり方 ○1 学期のまとめ ○夏休みの過ごし方	○1 学期のまとめ ○夏休みの過ごし方 ○職場体験に向けて ○防災・安全学習	○計画的な学習 ○1 学期のまとめ ○夏休みの過ごし方
9 月	○学期の目標と組織 ○教育相談 ○文化祭に向けて	○学期の目標と組織 ○教育相談 ○文化祭に向けて	○学期の目標と組織 ○教育相談 ○音楽コンクールに向けて ○文化祭に向けて
10 月	○中間試験に向け ○学級の諸問題 ○文化祭に向けて	○中間試験に向けて ○学級の諸問題 ○文化祭に向けて	○中間試験に向けて ○音楽コンクールに向けて ○文化祭に向けて
11 月	○進路学習 ○保健衛生について ○防災・安全学習 ○生徒会役員選挙に向けて	○進路学習 ○保健衛生について ○防災・安全学習 ○修学旅行に向けて ○生徒会役員選挙に向けて	○進路学習 ○学級の諸問題 ○進路決定に向けて ○生徒会役員選挙に向けて
12 月	○2 学期のまとめ ○冬休みの過ごし方	○2 学期のまとめ ○冬休みの過ごし方	○2 学期のまとめ ○冬休みの過ごし方
1 月	○学期の目標と組織 ○学級の諸問題 ○教育相談	○学期の目標と組織 ○学級の諸問題 ○教育相談	○学期の目標と組織 ○学級の諸問題 ○教育相談
2 月	○卒業証書授与式に向けて ○環境整備 ○社会に目を向ける	○卒業証書授与式に向けて ○環境整備 ○社会に目を向ける	○卒業に向けて ○環境整備
3 月	○卒業証書授与式に学ぶ ○一年間のまとめ ○春休みの過ごし方	○卒業証書授与式に学ぶ ○一年間のまとめ ○春休みの過ごし方	○卒業証書授与式に向けて

生徒会各委員会は学期ごとに編成し，毎月委員会を行い，活動内容の検討を行う。ただし，学期最初の委員会は活動計画の作成，学期最後の委員会は活動のまとめを行い，次学期に引き継ぐ。

令和5年度 学校行事年間指導計画

(ア) 儀式的行事の実施計画

① 儀式的行事のねらい

- 生徒の学校生活に一つの転機を与え、生徒が相互に祝い合い励まし合って喜びを共にし、決意も新たに新しい生活への希望や意欲をもてるような動機づけを行い、学校、社会、国家などへの所属感を深めるとともに、厳かな機会を通して集団の場における規律、気品のある態度を育て、公共の精神を育てる。

② 儀式的行事の実施にあたって

- 儀式的行事を実施する際には、厳肅な雰囲気を保つようにするとともに、生徒が相互に祝い、励まし、喜びを分かち合うことによって、集団や社会の一員としての連帯感を育て、学校生活がより有意義なものになるよう配慮する。
- 儀式的行事と学校の教育目標との関連を図るとともに、実施する個々の行事の目標を明らかにしこれを生徒に十分に理解させ、できる限り生徒にいろいろな役割を分担させ、使命感や責任感の重要性についての自覚を深める機会にする。

③ 実施計画

一 学 期	二 学 期	三 学 期
4月 就任式 始業式 入学式	9月 始業式	1月 始業式
7月 終業式	12月 終業式	2月 立志式
		3月 卒業証書授与式 修了式 離任式

(イ) 文化的行事の実施計画

① 文化的行事のねらい

- 生徒が学校生活を楽しく豊かなものにするため、互いに努力を認めながら協力して、美しいものよりよいものを作りだし、互いに発表し合うことで、自他のよさを見つけ合う喜びを感じ得るとともに、自己の成長を振り返り、自己を一層伸長させようとする向上の意欲を高めるようにする。
- 美しいものや優れたもの、芸術的なもの、地域やわが国の伝統文化に触れることによって、豊かな情操を養うとともに、生涯にわたり、文化や芸術に親しんでいく態度や能力を育てる。

② 文化的行事の実施にあたって

- 生徒の自発的な創意工夫を生かしながら、学習活動の成果を発表し、相互の努力を認め合い、協力して活動を展開するように援助することが必要である。同時に、生徒がそれぞれ自己の成長の跡を振り返り、更に自己を一層伸長させようとする向上の意欲を高めるように指導することも必要である。

③ 実施計画

第1学年	第2学年	第3学年
文化祭 (10月)	文化祭 (10月)	文化祭 (10月) 市内音楽コンクール (10月)

■備 考 文化祭は「総合的な学習の時間」の学習成果の発表の場として設定するため「総合」で、市内音楽コンクールは「学校行事」扱いとする。

(ウ) 健康安全・体育的行事の実施計画

① 健康安全・体育的行事のねらい

- 健康を保持増進するためには、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活をする事が重要であることを自覚し、生徒が自己の発育、発達や健康の状態などを知り、それらの結果に基づいて、実際の生活の中で自主的、自律的に健康で安全な生活を送る意欲や態度を育成する。同時に、自他の生命の尊重を自覚し、心身の健康や安全を確保するための適正な判断や対処をする能力を培う。
- 体力や気力の充実など、心身の健全な発達に資するとともに、スポーツや運動に親しむ資質や能力を育て、生涯にわたって実践する習慣を身に付ける契機にするとともに、競争や協同の経験を通して、公正に行動し、進んで規則を守り、互いに協力して責任を果たすことなど、社会生活に必要な態度を養う。

② 健康安全・体育的行事の実施にあたって

- 健康安全に関する行事において、関連する各教科や道徳などと密接な関連を図り、充実を期することが必要である。
- 安全に関する行事では、非常事態に際し、沈着、冷静、迅速、的確に判断して対処する能力を養い、自他の安全を確保するこのできる能力を身に付けることが必要である。

③ 学期別健康安全・体育的行事

	保健安全・体育的行事	健康管理	安全管理	保健安全指導
一 学 期	○スポーツテスト ○発育測定 ○定期健康診断 ・歯科検診・眼科検診 ・内科検診・結核検診 ・耳鼻科検診・尿検査 ・心電図検査（1年） ・視力検査・聴力検査 ○犯罪防止教室 ○育友会校外補導 ○避難訓練 ○体育大会 ○防災教室	○健康観察 ○手洗いの励行 ○疾病の治療のすすめ ○感染症予防対策	○登校指導 ○安全点検及び整備 ○掃除用具の点検 ○机・イスの調整 ○運動用具の点検 ○梅雨期の環境衛生 ○大掃除	○健康診断の目的・受け方 ○保健室について ○疾病の早期発見、早期治療 ○規則正しい生活 ○歯の健康 ○食中毒の予防 ○熱中症の予防 ○交通安全 ○飲酒・喫煙・薬物乱用防止 ○夏休み中の生活 ○感染症予防
二 学 期	○避難訓練 ○がん教育講演会 ○薬物乱用防止教室 ○身体測定 ○照度検査	○健康観察 ○疾病治療状態把握 ○感染症予防対策	○登校指導 ○安全点検及び整備 ○除草作業 ○教室の照度測定 ○暖房器具の点検 ○大掃除	○ケガの予防および救急処置 ○目の健康、心の健康 ○災害安全 ○保温・換気と風邪の予防 ○冬休みの生活 ○感染症予防
三 学 期	○避難訓練 ○身体測定 ○教室の空気等の検査 ○薬物乱用防止教室	○健康観察 ○感染症予防対策	○登校指導 ○安全点検及び整備 ○教室の換気及び火災防止 ○教室の整備 ○大掃除	○うがい、手洗いの指導 ○教室の換気 ○感染症予防 ○ストーブの安全指導 ○正しい姿勢 ○耳の健康 ○生活習慣 ○生活の反省

(エ) 旅行・集団宿泊的行事の実施計画

① 旅行・集団宿泊的行事のねらい

- ・平素と異なる生活環境の中にあつて、教師と生徒並びに生徒相互の人間的な触れ合いを経験して、人間としての生き方について自覚を深めると共に、生涯の楽しい思い出をつくることができること。
- ・わが国の文化・経済・産業・政治などの重要地を直接見聞したり、大自然の美しさに接したりすることによって、各教科その他における学習を拡充することができ、広い知見と豊かな情操を育成することができること。
- ・楽しく豊かな集団行動を通して、健康や安全、集団生活のきまり、公衆道徳などについて望ましい体験をえること。

② 集団宿泊的行事の実施にあたって

- ・集団宿泊的行事の実施にあたっては、その教育的な意義やねらいを考慮し、生徒相互の協力、きまりや約束の遵守、レクリレーションの工夫、勤労生産・奉仕的行事との関連などを重視して、単なる物見遊山に終わることのない有意義な旅行・集団宿泊的行事を計画・実施していくことが必要である。
- ・実施にあたっては、各教科、道徳、学級活動などとの関連を図り、事前及び事後の指導を十分に行うと共に、生徒の心身の発達段階、安全、環境、交通事情、経費、天候、不測の事故、事故の発生時における対応策などに十分配慮する。

③ 実施計画

第1学年	第2学年	第3学年
	修学旅行（12月）	

(オ) 勤労生産・奉仕的行事の実施計画

① 勤労生産・奉仕的行事のねらい

- ・勤労生産・奉仕的行事にかかわる様々な体験活動を通して、勤労の貴さや意義を理解し、職業や進路の選択と社会的自立に必要な望ましい勤労観や職業観を身に付けたり、共に助け合って生きる人間として必要な社会奉仕の精神を身に付けたりするなど、人間としての生き方についての自覚を深め、将来の社会人としての自立していくための態度や能力を育てる。

② 勤労生産・奉仕的行事の実施にあたって

- ・行事の目的やねらいを明確にした上で、その内容に応じて各教科、道徳、総合的な学習の時間などと指導の関連を図り、学校教育全体として豊かな教育活動を構築するよう十分留意することが必要である。
- ・職場体験や学校外におけるボランティア活動などの実施に当たっては、生徒の心身の発達の段階や適正等を考慮して計画し、実施することが必要である。

③ 実施計画

- ア 校内環境美化―花壇の花作り・野菜作り (4月～10月) 【生徒会環境・健康委員会】
- イ 職場体験学習―職業の体験学習 (8月) 【2学年】